



地域に根ざした自治会

自治会に関するお問い合わせは、地域文化課 ☎042 (346) 9532

自治会とは

どのような団体で、どんなことをしているのでしょうか。自治会は、生活するうえで、一人の力では解決できないことや準備できないことなど、地域の課題をみんなで解決し、住みよくするために活動しています。

あなたの地域で行われている避難訓練は、自治会が中心となって実施しているかもしれません。
あなたの地域がいつもきれいなのは、自治会が中心となって掃除しているからかもしれません。
あなたの地域が夜間いつも明るいのは、自治会が防犯灯をつけているからかもしれません。
高齢者や子どもの見守り、祭りを通して地域の文化を守っていくといった活動なども自治会が行っている場合があります。
地域の結び付きが弱まっていると言われていますが、自治会は地域の中心となって活躍しています。



自治会をつくりませんか

「遠くの親戚より近くの他人」と言われるように、いざというとき、一番頼りになるのは近所の皆さんです。自治会が結成されていない地域の方は、住みよい地域社会を形成するために、ぜひ自治会をつくってみませんか。自治会を結成するためには、地域の皆さんで運営方法や必要性を話し合ってください。相談も受け付けますので、問合せ先へ気軽にご連絡ください。

自治会に入りませんか

自治会では、その地域に合った、暮らしやすく、安全・安心の住みよいまちづくりを実現させるため、さまざまな活動に取り組んでいます。助け合いの精神こそ、よりよい地域、よりよい生活につながります。まだ未加入の方は、ぜひ自治会に加入しましょう。

自治会の活動

自治会では、次のような活動に取り組んでいます（自治会によって活動内容は異なります）。



防犯活動

住民の方が犯罪被害にあわないよう、防犯パトロールや講習会の開催、防犯灯の設置・維持管理を行っています



地域福祉活動

子どもからお年寄りまで、地域の皆さんが互いに支えあって生活できるよう地域のつながりを深める活動をしています

市政情報の提供

自治会報、市からのお知らせなど、市内町内の暮らしに必要な情報を会員の皆さんに提供しています



防災活動

地震などの災害に備えて、防災訓練の実施、火の用心巡回などを行っています



社会福祉活動

赤い羽根募金・歳末助け合いなどの募金活動を行っています



親睦活動

地域の皆さんの交流や、連帯感を高める夏まつりやカラオケ大会などのイベントを実施しています



環境美化・資源リサイクル活動

地域・公園の清掃、ごみ減量キャンペーンへの参加を行っています

自治会の補助金

市では、自治会が活動するための各種補助金・交付金制度を用意しています。

名称	内容	問合せ
事務交付金	自治会運営費の一部として交付しています	地域文化課 ☎042 (346) 9532
防犯灯電気料補助金	自治会が所有する私道上の防犯灯の電気料については100%、設置費や維持管理費については一部補助を行っています	
防犯灯設置費補助金		
防犯灯維持管理費補助金		
掲示板設置費補助金	自治会が広報用に使用する掲示板の設置費について一部補助を行っています	防災安全課 ☎042 (346) 9519
消火器購入の補助	自治会が消火器を購入した場合、一部補助を行っています	
自主防災組織補助金 ※自主防災組織登録が必要。	おおむね100世帯以上で構成され、毎年1回以上の防災訓練を行う組織に補助を行います	
防犯活動用品購入費補助金	おおむね100世帯以上で構成され、定期的に防犯活動を行う組織に補助を行います	ごみ減量対策課 ☎042 (346) 9535
集団回収による補助	資源物を自治会が集め、資源回収業者に渡すことで補助金を交付しています	

自治会長からのメッセージ

小平団地自治会

毎月、ふれあい喫茶「ゆうらうんじ」を開催して自治会員同士のしゃべり場の提供を行っています。サークルの活動などさまざまなイベントを通して、生き生き楽しめる自治会です。

学園東町自治会

安心、安全の街づくりを目標に防災訓練や防犯パトロールを実施しているほか、会員相互の交流を図るために自治会として「ほたるの夕べ」への参加や、お茶を飲みながら地域の課題を話し合う「さわやかサロン」などの活動を行っています。

市民と市長の対話集会

今年度のタウンミーティング



平成22年度は、「世代」をテーマに開催しました。会場で出されたご意見の一部を紹介します。
市内在住・在学の大學生
(11月13日開催)

てしまうので、市内に学生が楽しめる店が出来れば活性化にもつながると思う
▽中学1年生の時から小平に住んでいる。大学生になってから小平に来た人が、小金井公園を知らなかったことに驚いた。小金井公園に限らず、市の特色や施設をもっとアピールしたほうがよいと思う
定年後…地域でいきいき暮らすには
(12月4日開催)

▽図書館を利用する人は、児童から高齢者までさまざまである。図書館の開館時間が午前10時から午後7時まででは短いと思うので、もう少し延ばしてほしい。また、相互利用ができる他の市の図書館も増やしてほしい
▽よく議会の傍聴をしている。今日市長は議会での答弁のような堅苦しい話をするのかと思ったが、議会とは違う面を見ることができてよかった
▽現在、歌や運動などを通じて憩いの場を作っている。これからは介護を必要とする高齢者が、ますます増えていくと思う。これらの人を支え、いたわるためには、市民と行政が力を合わせて取り組まなければならないと思う。また、平成24年度に、小平で「全日本花いっぱい運動」が開かれるので市と協力して進めていきたい

▽「イクメン」は、言葉が先走りしているのではないかとと思うが、女性が社会進出しないと社会が動かなくなってしまうと思う。子育てと仕事との葛藤が生じてしまつことだ。小平には、家庭支援センターや地域センターなどがあり、そういう場で交流を図れる母親は多いが、外に出ない母親も多く心配だ
▽0歳〜1歳児の保育園への入園はなかなか難しい。一般の企業のように、市役所に職員専用の保育園を設けてみてはどうか。職員も助かるだろうし、市民の待機児童の解消にもなるのではないかと

イクメン
(2月5日開催)

タウンミーティングの内容は、市政資料コーナー(市役所1階)、小平市ホームページでご覧になれます。
問合せ 秘書広報課 ☎042 (346) 95008

タウンミーティング



なってきたと思う。すぐに欧米と比べてもよいのではないかと。市役所でも、育児休暇を取る男性職員が多少なりとも出るようになったことは、進歩していることだと思う。少しづつ、無理なく進めていけばよいのではないかと
▽市の委託を受け、新生児・妊産婦訪問指導を担当している。最近の訪問で心配なことは、母親が孤立していることや、高齢での出産が増えているため、父親が育児にかかわることによって、子育てと仕事との葛藤が生じてしまつことだ。小平には、家庭支援センターや地域センターなどがあり、そういう場で交流を図れる母親は多いが、外に出ない母親も多く心配だ
▽0歳〜1歳児の保育園への入園はなかなか難しい。一般の企業のように、市役所に職員専用の保育園を設けてみてはどうか。職員も助かるだろうし、市民の待機児童の解消にもなるのではないかと